

# 浜松市文化財情報

発行：浜松市文化財課

浜松市中区元城町103-2（本庁6階）

TEL：053-457-2466

FAX：053-457-2563

Mail：bunkazai@city.hamamatsu.shizuoka.jp



Vol. 42  
2011/8/20

金銀装円頭大刀（浜松市指定有形文化財）

## 博物館特別展「銅鐸から銅鏡へ」開催中！～9月4日まで

2011年（平成23年）は、市制100周年とともに、浜北区にある前方後円墳、赤門上古墳の発掘調査から数えて50年目にあたる記念の年です。

この節目にあわせ、全国でも有数の出土数を誇る銅鐸と赤門上古墳から出土した副葬品の数々をとりあげた特別展を浜松市博物館（中区蛸塚四丁目）で開催しています。



### ◆浜松市で出土した銅鐸が勢ぞろい！



銅鐸は、弥生時代（約2000年前）のマツリに使われたカネですが、次第に大型化して見せるための道具に変化します。浜松市内では、確実なもので19個の銅鐸が出土しています。また、銅鐸の破片や出土伝承を含めると全体の出土数は20数個分にのぼり、全国的にも銅鐸が集中する地域として注目されています。

浜松市内出土した銅鐸は、地元に残されているものもありますが、半数以上が県外の博物館などの所蔵品となっており、普段はその全貌を眺めることはできません。この度の特別展では、8個の銅鐸が里帰りし、合わせて近隣で出土した銅鐸もご覧いただけます。銅鐸が集中する当地域の特色が一望できる内容です。



### ◆国宝「桜ヶ丘4号銅鐸」の絵柄が見られます

展示品の中でも、国宝「桜ヶ丘4号銅鐸」は表面に絵画が描かれ、特に人気を集めています。この銅鐸は、1964年（昭和39年）12月10日、兵庫県神戸市灘区桜ヶ丘町、六甲山に続く丘陵の斜面から出土しました。出土した14個の銅鐸と7本の銅戈（どうか）は、国宝に指定され神戸市立博物館が所蔵、公開しています。今回展示した4号「袈裟襷紋銅鐸」は、両面を絵画で飾った銅鐸として有名です。A面の右上には魚をくわえた水鳥、左上に4本足の動物とクモかアメンボウ、左下には何かの道具を持ち座っている人物、右下に弓を持ちシカをつかまえている人物が描かれています。B面の右上にはクモまたはアメンボウとカマキリ、左上にトンボ、左下にはイモリまたはトカゲ、右下にスッポンまたはカメが描かれています。両面とも裾（すそ）にはシカの親子が行列のように描かれています。

### ◆赤門上古墳出土の三角縁神獣鏡も…

いっぽう、赤門上古墳は全長56mの前方後円墳で、古墳時代前期（約1650年前）に築かれました。50年前の1961年（昭和36年）に埋葬施設が発掘調査され、銅鏡や玉類、武器などの豊富な副葬品が出土しています。赤門上古墳から出土した鏡は、三角縁神獣鏡と呼ばれる中国製のもので、邪馬台国の女王、卑弥呼が中国王朝（魏）からもらった銅鏡にあたるのではないかとする学説があります。三角縁神獣鏡は、同じ型でつくられたキョウダイ鏡が全国の有効な古墳から出土しています。今回の展示では、奈良県黒塚古墳出土鏡や京都府椿井大塚山古墳出土鏡など、赤門上古墳鏡のキョウダイ鏡も集まり、比べてご覧いただけます。



稲作を本格的に始めた弥生人たちの豊作の願いが表現された銅鐸や、権力の象徴である古墳副葬品の数々を、是非、浜松市博物館でご覧下さい。

特別展の開催に合わせ、記念講演会を開催します

#### 記念講演会「銅鐸から前方後円墳へ」

- 日時：9月4日（日）午後1時～4時
- 会場：なゆた・浜北大会議室
- 入場：無料（先着200人）
- 講師：寺沢薫さん（桜井市纏向学研究センター設立準備顧問）

# 親子文化財めぐりを開催しました!

7月30日(土)に「浜北区親子文化財めぐり」が行われ、晴天の中、20名の親子が参加しました。

参加者は、市指定史跡の「**天堯堤**」、国指定天然記念物で推定樹齢600年の「**北浜の大力ヤノキ**」や、旧石器時代の人骨「**浜北人**」の出土地である「**根堅遺跡**」、市指定史跡で6世紀前半に築かれた「**興覚寺後古墳**」、南北朝時代の山城である「**大平城跡**」、国登録有形文化財「**天竜浜名湖鉄道宮口駅**」や庚申参りで有名な「**庚申寺**」、県指定史跡で三角縁神獣鏡や鉄剣などを出土した「**赤門上古墳**」の計8箇所の文化財をめぐりました。



興覚寺後古墳では、実際に石室に入って見学しました。また、大平城跡では、山の地形を利用して作られた曲輪跡について、山道を歩きながら確認しました。

庚申寺では、猿の屋根飾りがあるユーモラスな山門などの建物の他に、中国の孝行者の話を描いた江戸時代の「**板地著色二十四孝図**(市指定有形文化財)」を見学し、絵馬に描かれている物語の説明に聞き入っていました。参加者からは、普段生活している地域の身近な場所に様々な史跡・文化財があることを知る事ができて良かった等の感想が寄せられました。



## 文化財日記抄

7月には、こんな調査活動などを行いました。

2日(土) 東区和田町	浜松市制100周年記念伝統芸能の集い(入場者1500名)
4日(月) 東区宮竹町	宮竹野際遺跡本発掘調査開始(～29日)
6日(水) 東区和田町	宮竹野際遺跡隣接地試掘調査
9日(土) 中区蛸塚	第1回徳川塾(博物館:参加者59名)
11日(月) 北区引佐町	重要文化財鈴木家住宅主屋・釜屋管理状況現地確認
12日(火) 南区高塚町	高塚遺跡試掘調査(～13日)
21日(木) 北区細江町	葭本遺跡試掘調査
25日(月) 中区佐藤町 中区住吉ほか	将監名遺跡工事立会い 市内近代化遺産(産業部門)現地調査
26日(火) 北区細江町	市指定有形文化財白柳家住宅管理状況現地確認
29日(金) 西区志都呂町 浜北区上島 天竜区春野町	中脇遺跡工事立会い 市指定有形文化財上島新田組秋葉山常夜燈鞘堂保存修理現地立会い 県指定有形文化財旧王子製紙製品倉庫現地確認
30日(土) 中区東伊場 北区引佐町	第2回徳川塾(県居公民館:参加者49名) 遠江のひよんどりとおくない連絡協議会

## 文化財イベント

■ 9月19日(土) ※要申込み【8月31日(水)必着】

国指定重要文化財「太刀 銘安繩(備前)」ほか

### 日本刀入門公開講座

- ▶ 午後1時～3時30分/秋葉山本宮秋葉神社上社(天竜区春野町領家)
  - ▶ 内容:秋葉神社所蔵の国指定重要文化財の太刀などを題材に、日本刀の歴史、文化性、芸術性など
  - ▶ 講師:渡邊妙子さん(佐野美術館館長)
  - ▶ 定員:50人(応募者多数の場合、抽選)
- ※申込方法等、詳細は、広報はままつ8月5日号を参照。



第18回全国山城サミット連絡協議会浜松大会が、来る11月19日、20日の2日間に開催されます。市制100周年を迎えた浜松市に、山城を活かしたまちづくりを進めている自治体や、山城・城郭愛好家のみなさんが集まります。詳細は、近日、公式Webサイトや文化財情報等でお知らせいたします。ご期待ください!

## 伝統芸能の集いを終えて ～文化(こと)づくりに向けて～

去る7月2日(土)浜松アリーナで開催した市制100周年記念事業「**浜松市伝統芸能の集い～浜松の祈り 明日への祈り～**」には、1,500名余の多くの方にご来場いただき誠にありがとうございました。

あらためて民俗芸能に対する市民の皆さまの関心の高さを感じるとともに、浜松の歴史・文化を次世代に伝えることの重要性を認識しました。



公演時のアンケートにおきましても、8割を超える多く

の方から「今後同様のイベントがあったらまた来たい」との評価をいただき、7割近くの方が「実際に現地で見たい」との回答をいただきました。

当日、主催者を代表しあいさつをした鈴木康友市長の新マニフェストには「**民俗芸能など伝統文化の保存と継承**」が掲げられています(広報はままつ8月5日号P8～P9掲載)。今後は、市内の無形民俗文化財伝承団体により構成される連絡会を立ち上げたり、三遠南信地域を含んだ民俗芸能フェスティバルを開催するなど、民俗芸能の保存・継承活動に取り組んでまいります。

今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

### 編集後記

銅鐸や銅鏡は、教科書に写真が載っていることもあり、多くの方に知られていますが、実物を見たことのある方は意外と少ないのではないのでしょうか。現在開催中の「銅鐸から銅鏡へ」展は、普段は一度に見られない多くの銅鐸・銅鏡がずらっと並んで陳列され、壮観です。夏休み後半の家族イベントとして、博物館にお出かけしてみても…?